

## 地域から見る宝塚ちどり

福井亀井自治会 会長 田村幸雄

今年の六月より、偶数月に一度開

催される、グループホーム宝塚ちどりの運営推進会議に地域住民代表として出席している事もあり、広報紙「なごみ」への投稿を依頼されましたので、この間の感想なりを一言申し上げます。

まずは、当自治会の紹介をさせていただきます。

当自治会には、約九百二十世帯が加入しています。主な活動としては、  
 ・高齢者を対象とした会食会や、百円喫茶

- ・安全で安心できる町づくりのため  
の自主防災活動や防犯パトロール
- ・盆踊りと夜店の夏まつり
- ・秋のバスツアー
- ・冬の餅つき大会 等



いずれの活動も多くの会員の方のご協力とご参加をいただいています。私から申し上げるべきではないかもわかりませんが、非常に活発であると思います。

宝塚ちどりさんにつきましては、当自治会の賛助会員として常日頃からご援助いただいております。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

十年前、この場所に高層マンションではなく、特別養護老人ホームが建つことがわかったとき、みんな我が事のように喜びました。なぜなら、地元の高齢者は優先入居できると思っただからです。(これはその後打ち消されました。主として介護の必要度の高い順との事でした。残念。)※①時は流れて、平成二十三年。盆踊りと夜店が並ぶ自治会主催の夏祭り行事には、宝塚ちどりに入居されている方も参加され、夏の夜のひと

きを楽しんでいただいています。また、阪神・淡路大震災後の、孤独死をなくす取り組みとして、震災復興住宅で始まった、民生委員・ボランティアによる「地域サロン・チェリース」を宝塚ちどりの地域交流スペースをお借りして開催しています。

開設当初から地域に開かれたスペースを提供していただいております。地域の高齢者にとってなくてはならない存在です。そんな地域サロンでは、毎回心を込めて「手のひらを太陽に」が歌われています。

♪ぼくらはみんな生きている  
 生きているから歌うんだー  
 ーみんなみんな生きているんだー  
 友達なんだ♪



この歌のように、みんなが一緒になって歌うことで一体感が生まれ、自分一人じゃなく仲間がいることを感じとり、話をする事ができ、または話を聴くことができ、情報交換ができます。



宝塚ちどりさんは、地域のみんなの支え合いにつながっていく「ひろば」になりました。

宝塚ちどりさんが、この地域に来ていただいて、改めて感謝！

この度は、大変お忙しい中、記事をご寄稿頂き、誠にありがとうございますございました。（田中）

※①特別養護老人ホームのご入居は、兵庫県の入所コーディネートマニュアルに従って、必要性や緊急性を評価した上でご入居頂きます。

## EPA介護福祉士候補者

### による宝塚市長表敬訪問

十月十九日にEPA介護福祉候補生が宝塚市の中川智子市長を表敬訪問しました。

中川市長は候補者の四名（ルキナールさん、ジュリヤティさん、ジユウイタさ



ん、ステファニーさん）に気さくに話しかけてくださるので、緊張していた候補者も

次第にリラックスし、インドネシアの地元のお話やプライベートの事など、色々と話がはずみました。そして体調への気遣いや日々の業務に対する労い、介護福祉士国家試験に向けてのエールを頂きました。（森本）

## ユニット便り

### デイサービス

十月十二日と十四日に秋の大運動会を行いました。

紅組と白組に分かれ、玉入れやパン食い競争など様々な競技を行いました。中でも一番白熱したのはディールームから事務所前を周回した借り物競走で、普段は物静かなご利用者も「もっと早く！急いで」と大声を出して楽しまれました。（森本）



鶴の荘・亀井荘ユニット  
十月十三・二十八日に神戸花鳥園まで外出してきました。

色とりどりの花や、ペンギンショー等、皆様真剣にご覧になっていました。

普段の生活ではあまり味わえない雰囲気です。素晴らしい笑顔を見せていました。



### 桜台・雲雀ガ丘ユニット

（黒木）

施設の屋上菜園で植えているサツマイモをご利用者の方々にも掘って頂きました。この日は気候もよく屋上に上がると「どこにあんの？」と芋を探されていました。土から掘ったばかりの芋を手にとると「大きいのできたね」「赤い色やな」と口々に感想を話されていました。

大きな芋を膝の上いっぱい抱え、ユニ





ットに戻られた後は「いつ食べるの？」と収穫したてのサツマイモをいつ食べられるのか楽しみにされ、笑顔になっておられました。

収穫した芋は、後日、蒸かし芋にして提供したところ、「懐かしいわ。昔はよく食べたのよ。屋上で植えていたなんて知らなかった」と、懐かしいお話と新しい発見のお話で秋の訪れを楽しまれました。(酒井)

## 委員会報告

### サービス向上・研修委員会

十月十二日(水)開催

十月十九日にカラオケ喫茶を実施しました。

特養部・グループホーム合わせて三十名程のご利用者が参加され、事前に伺っていたお好みのお酒を飲まれたり、カラオケをされたりと、終始和やかな雰囲気です。次回は二月頃に実施する予定です。ご都合宜しければ、

ご家族の皆様もご参加いただければ幸いです。



また、先月号と併せてご案内しましたサービス満足度調査についてですが、お忙しい中ご協力いただきまして誠に有り難うございました。提出期限は過ぎましたが、より良いサービスのご提供を図るべく、引き続き受け付けております。ご家族の皆様の率直なご意見、ご要望をお聞かせいただきたいと思いますので、お手数ですが、ご協力の手数で、よろしくお願い申し上げます。

(市枝)

研修委員会では、研修委員全員を二班に分け、宝塚西消防署で開催された上級救命講習を受講しました。

講習では、応急手当の手順を覚え、AEDの使用方法を実践して理解する等、ご利用者の命を繋ぎ止める為に必要な知識と技術を学びました。(福山)



### 給食・感染症対策衛生委員会

十月十八日(火)開催

嚥下機能が低下されている方向けに提供している「汁物のとろみ」に

ついて検討しました。

以前より、汁物はとろみ付きでもむせ込みがひどくみられる場合もあり、提供できないとの声も聞かれていた為、十月から十一月の三ヶ月間、試験的に次のような取り組みをする旨決定しました。

・今まで厨房にて一括して同様の粘度にとろみを付けていたのを、ユニットにて個々の嚥下状態に合わせて粘度を付ける。

・粘度を付ける「とろみ調整食品」を、片栗粉から増粘剤という安定性のある物に替える。

コストやユニットでのひと手間は若干かかりますが、少しでも安全に美味しく召し上がって頂きたいと思えます。

行事食では、十月は鉄板を使った料理をテーマに、ユニットごとにお好み焼き・鉄板焼き・鮭のちゃんちゃん焼きのいずれかを楽しんで頂きました。

十一月は実演にぎり寿





司を予定しています。お寿司が好きなご利用者もたくさんおられるので、楽しみにしててください。



感染症委員会では、十一月に行われる予定の「感染症研修」についての内容を確認しました。

インフルエンザ、ノロウイルス等の予防対策や、発症時の初期対応の確認と、実技を交えた研修を行う予定です。(鍛冶)

## 事故防止委員会

十月二十五日(火)開催  
十月に誤嚥予防月間を設定し、各スタッフやユニットで誤嚥の危険性について今一度振り返り、事故を未然に防ぐよう心掛けていきました。

各ユニットで食事形態の見直しや、とりみ調整食品の活用、食事中むせ込まれる事があれば一時的に食事を中止をする等、各自意識高めながらケアを行ったことで、誤嚥による事故・ヒヤリ報告は減少傾向がみられました。(米澤)

## 地域交流・広報委員会

十月十五日(土)に末成小学校で行われた地域の運動会(主催コミュニティすえなり)に参加しました。

小さな子どもたちが元気よく走っている姿を見ると、皆様、自然と笑顔になり一生懸命応援をされていました。



十月二十六日(水)開催の定例会議では、各部署が外出等をした際の情報について、また、生け花サークルの担当の再確認、地域やボランティアさんに向けた「らくらく介護体験」の開催について協議しました。(森本)

広報委員会では広報誌「なごみ」をどのように地域に広げて行くかを協議しました。その為には地域の行事等に積極的に参加し広報誌に載せてみてはどうか等の意見が拳がり、地域交流委員会と協働して進めてい

きたいと考えています。また、法人のホームページも適宜確認し、必要に応じて更新・修正を提案していきたいと考えています。(杉本)

## 『節電』の取り組みについて

本紙でも継続的にご案内しておりますが、当法人は今冬も節電を実施していく予定です。

まずは、クリスマスイルミネーションも少し大人しく設置したいと考えています。また、電力だけでなく、必要なガスの使用も見直したいと考えています。

つきましては、十一月発送のご案内をご確認頂き、引き続きご理解・ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。(田中)

## 編集後記

十一月の初め、お風呂上りに扇風機をつけました。

度々申し上げますが、季節の変わり目は十分にご注意下さい。(杉本)

